

トイレ棟外観



建物の四周には大胆にハイサイドライトを設け、ガラス窓を通じて外部からも木天井を見ることができる。木天井は、八幡浜の特産であるみかんの段々畑をイメージのモチーフとしている。

入口



中庭を中心とし、左は女性トイレ、右は男性トイレを配置。車いす使用者が使用しやすいように配慮し、それぞれのトイレ入口に多機能トイレを設置した。

男性トイレ 小便器コーナー



ハイサイドライトのガラス窓からの日差しとともに景色の開放感に包まれる空間。小便器は清掃性の高い壁掛小便器を採用。正面奥には、ベンチを設置し待合スペースとした。

男性トイレ 洗面コーナー



ハイサイドライトのガラス窓からたっぷりと自然光を取り入れた洗面コーナー。鏡には間接照明を設け、上質な雰囲気演出している。

中庭



トイレ中央に配した明るく開放的な中庭。中庭を取り囲むようにベンチを設置し、ゆったりとトイレ待ちが出来る場所としている。

女性トイレ 大便器コーナー



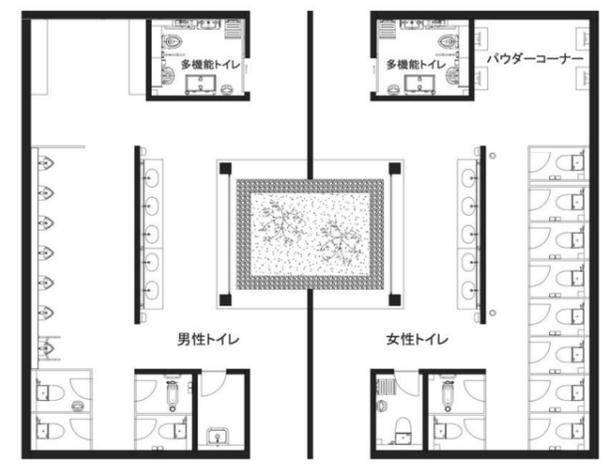
大便器はローシルエットですっきりとした形状が特長のウォッシュレット一体型便器を採用。

多機能トイレ



男女トイレの正面入口に、それぞれ多機能トイレを配置。車いす使用者だけではなくオストメイトにも配慮し、汚物流しを設置している。

トイレ図面



中央に中庭を配置し、出入口を2ヶ所設けることで通り抜けもできるレイアウトとした。

女性トイレ 洗面コーナー



明るく開放的な洗面コーナー。水栓は、操作レバーの水と湯の境に設けたクリック感で、湯水をきちんと使い分けられるエコシングル水栓を採用。

女性トイレ パウダーコーナー



化粧しやすいように照明位置が設定されたLED照明付鏡を採用。荷物置き場としてカウンターを設置し、さらに個別鏡の横には、メイクに便利な化粧棚を設置した。

建築概要

名称	八幡浜みなと
所在地	愛媛県八幡市字沖新田1581番地23
施主	八幡浜市役所
設計	bUdアトリエー級建築士事務所
竣工年月	2013年 3月

水まわりの特長

<建物の特長>

八幡浜みなとは、愛媛県道八幡浜港線に位置する道の駅。八幡浜の活性化を目的とした「八幡浜港振興ビジョン」に基づき、2013年4月に新たな地域交流拠点として誕生した。物販・飲食施設の「アゴラマルシェ」、魚を直売する「どーや市場」、情報発信・地域活動の拠点となる「みなと交流館」からなる複合施設。市民の交流の場や憩いのある空間が創出されるとともに、みかんとさかなのまち、潮風香る八幡浜市の新しい観光発信拠点として、地域内外からの多くの来訪客で賑わっている。

<トイレの特長>

トイレ棟は施設のシンボルとして位置付けられ、地元にはない発想を期待して全国からアイデアを公募した上で決定された。「トイレは集客を左右する大切な施設」という考えのもと、機能的かつ、ほっと一息つける多目的スペースとなるよう計画された。大便器はローシルエットですっきりとした形状が特長のウォッシュレット一体型便器を採用。男女トイレそれぞれの入口に設置した多機能トイレは、コンパクト設計で使い勝手にも配慮したコンパクト多機能トイレパックを採用。ミカンの段々畑をモチーフとした木天井、陽光を心地よく取り入れるハイサイドライト、開放的な中庭といった、個性が光る美しく気持ちのよいトイレは、地元の方や観光客からも好評を博している。